**結婚の儀**（これから結婚式の中心部分にはいります）

（新郎新婦と証人は立って祭壇の前に進み出てください）

**結婚の意志の確認**

婚約者達は自由に、そして全生涯をかけて共に一生涯夫婦として生きることを表明します。

司祭（　　　　）さん、（　　　　）さん、おふたりは自らすすんでこの結婚を望んでいますか。

新郎＆新婦　はい、望んでいます。
司祭結婚生活を送るにあたり、互いに愛し合い、尊敬し合う決意を持っていますか。

新郎＆新婦　はい、もっています。

司祭あなた方は恵まれる子供を真の幸せに導くように育てますか。

新郎＆新婦　はい、育てます。

 　 \*

聖書の朗読によって心の準備ができた婚約者たちは結婚の意志を互いに

確認し合う段階に入ります。

結婚するのは人の自由ですが、ひとたびこの誓いがおこなわれると、たとえ将来二人の新しい同意があっても、神が結ばれたこの結婚の絆は少しも変更できないのです。二人が今表明した承諾はただ配偶者に対するものではなく、二人を越えた存在、つまり神に対するものです。結婚はそのその本来の本性から、子供の出産と教育および配偶者相互の助け合いと完成を目指しています。これらの目的を達成するために、夫婦には一生涯にわたる忠実と結婚の不解消性要求されるのです。

サンパウロ　　ことばの祭儀による結婚式より

**＋福音書朗読----------新約聖書マタイによる福音5章1-12節**

 朗読　司祭

司祭　主はみなさんとともに　**一同　また司祭とともに**司祭　マタイによる福音　**一同　主に栄光**（唱えながら親指で小さな十字を額、口，胸の三箇所に記します）

 \*

心の貧しい人々は、幸いである、
天の国はその人たちのものである。
悲しむ人々は、幸いである、
その人たちは慰められる。
柔和な人々は、幸いである、
その人たちは地を受け継ぐ。
義に飢え渇く人々は、幸いである。
その人たちは満たされる。
憐れみ深い人々は、幸いである。
その人たちは憐れみを受ける。
心の清い人々は、幸いである。
その人たちは神を見る。
平和を実現する人々は、幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる。
義のために迫害される人々は、幸いである。
天の国はその人たちのものである。

**The Gospel of the Lord.（キリストに賛美）**

**一同　キリストに賛美**.

**\*司祭から福音書に基づいた説教と新郎新婦への言葉**

司祭